

「不動産のための計量分析」最終課題について

ガイダンス時に下記のように説明したとおり、本科目では最終課題演習に 90 分かけて取り組んでもらい、その場で提出してもらいます。

0-6 成績評価の方法

本講義はデータを用いた演習形式で行い、最後に期末試験代わりの最終演習課題を実施する。講義毎に出題される演習課題（60%）と最終課題演習（40%）で評価を行う。最終課題演習は 90 分で実施し、講義で学んだ内容の総確認のための演習作業を行い、時間内に演習結果を提出するものである。

なお、出席点はなく、また、他学生の課題からのコピペは、コピペした学生およびコピペさせた学生の両者の成績を 0 点とする。

最終課題は以下の要領で実施します。なお、追・再試は一切行わない。

日時：7/25（水）1 時限

場所：2643 教室

内容：

- （1）データの基礎分析（例えば、平均や最大値、最小値、標準偏差など）
- （2）重回帰分析とその応用（例えば、重回帰分析の結果は読み取れますか？回帰係数を解釈したり、予測値を計算したりなど）

持ち込み：

- （1）印刷したレジюмеのみ認める。それ以外の一切の持ち込みを認めない。持ち込んだ場合はカンニングとし、最終課題を 0 点とする。
- （2）レジюмеへの書き込みは認めるが、その他のコピーや Excel や word ファイル等の電子ファイルの持ち込み及び使用は一切認めない。